

佐屋中・佐屋小の 老朽化対策は新築か

佐藤 信男議員

全体ビジョンを決定し教育委員会で判断
教育部長



問 学校施設の老朽化に対する提言はどんな内容か。

答 構造躯体の専門的な劣化状況調査を行い、その結果に基づいて老朽化対策事業を実施。校舎を健全な状態で長く使用し、市全体の中長期コストを抑えるために、外壁や屋上等の定期的な予防改修事業を実施する。

問 佐屋中学校の施設整備の内容は。

答 学校施設に係る健全

性や耐力性の調査結果を踏まえて手法を検討する。

問 佐屋中学校の調査状況は。

答 平成30年度に佐屋中学校健全度調査を実施。耐力度調査及び基本調査は実施していないので、計画している。

問 佐屋小学校の施設整備は。

答 佐屋小学校老朽化対策基本計画等策定業務で、基本構想、基本計画の策

定に取り組んでいる。基本構想は、改築もしくは大規模改修で老朽化対策の全体ビジョンを決定する。

問 佐屋小学校の調査の進捗状況は。

答 健全度調査と耐力度調査を合わせた佐屋小学校施設健全度調査業務を令和5年から6年に実施。基本調査は、老朽化対策基本計画等策定業務の中で実施する。

問 開庁時間変更の本来の目的は。

答 受付した書類の処理や収納金の確認等、閉庁後に行う業務を勤務時間内に行い、職員全体の早期退庁を推進し、ワーク・ライフ・バランスの推進、働き方改革につなげたい。創出した時間を活用し、情報共有や業務、政策課題の解決に努める。

開庁時間の変更は

問 本市の開庁時間のその後の検討状況は。

答 令和7年12月1日から窓口受付時間を、午前9時から午後4時までに変更する。



▲校舎新築早期着工が望まれる佐屋小学校

問 佐屋中学校、佐屋小学校の校舎の老朽化対策は、学校規模や将来的なことを総合的に勘案すれば、改築、つまり新築が適切であると判断するが、考えは。

答 基本構想で、改築もしくは大規模改修による老朽化対策の全体ビジョンを決定。準備委員会の協議結果等を踏まえ、教育委員会として判断する。